

～ 沖縄問題を「本土」から考える ～

# 米軍機はなぜ落ち続ける

1959年、沖縄県宮森小学校に米軍ジェット機が墜落し多くの死傷者を出した。その後約60年の間に米軍機は落ち続けている。2004年沖縄国際大学に落ち、そして2016年末のオスプレイが墜落してからは驚くべき数の米軍機が墜落、緊急着陸、そして部品を落下させている。米軍の対応は、報告なし、報告遅れ、謝罪を渋り、訓練に事故はつきものだとまで言う。事故検証がされないまま、住民の不安をよそに飛行は再開される。

米軍機の事故・トラブルはなぜ起き続けるのか。日米地位協定に制約される米軍と沖縄の関係。そして、それは沖縄だけでなく、米国と日本との関係にもつながっている。東京にもオスプレイが、夏には正式に配備される。

現地で密着取材してきた沖縄タイムスの記者がその実態を語る。

## 第一部 講演

### 「主権なき国家のひずみ～沖縄問題を東京で考える～」

沖縄タイムス政治経済部 福元 大輔

## 第二部

報告1「宮森小学校・米軍機墜落事故について」 牛島 貞満（宮森・630を伝える会）

報告2「嘉手納基地・B52墜落事件について」 秋山 道宏（明治学院大学国際平和研究所助手）

パネルディスカッション 福元 大輔、牛島 貞満、秋山 道宏



福元大輔（ふくもと・だいすけ）

1977年生まれ、兵庫県西宮市出身。2001年4月、沖縄・宮古島の宮古毎日新聞に入社。03年8月、沖縄タイムスに入社。社会部教育、警察担当をへて、07年3月から3年間、八重山支局長。10年3月から3年間、北部支社報道部で名護市を中心に担当。14年3月から沖縄県庁記者クラブで基地問題を担当する。現在は沖縄県政キャップ。共著に「これってホント!? 誤解だらけの沖縄基地」など。

撮影：沖縄タイムス『普天間飛行場周辺の住宅地上空を飛行するオスプレイ＝2013年』

日時：2018年7月7日（土）13：30～17：00（13：00開場）

場所：明治学院大学白金キャンパス地下1階3号館3102教室

「白金台駅」2番出口・「白金高輪駅」1番出口・「高輪台駅」A2出口 徒歩7分

資料代：800円 学生・明治学院大学関係者は無料 ※ 地図は裏面参照

主催・沖縄のつどい2018実行委員会（宮森・630を伝える会、ジュゴン保護キャンペーンセンター、公益財団法人原爆の図丸木美術館）  
後援：明治学院大学国際平和研究所 賛同：公益財団法人東京YWCA、平和を実現するキリスト者ネット（予定）、  
辺野古リレー、沖縄戦首都圏の会、沖縄平和ネットワーク首都圏の会、

連絡先 / 080-1080-7821（日高）

# 基地がある限り、 安全な日はこない！

## 沖縄・宮森小学校 米軍ジェット機墜落事件

子どもたちがいる教室に、米軍機が突っ込んでくる、そんなことをあなたは想像できますか？

59年前の1959年6月30日、嘉手納基地を発進したジェット戦闘機は、沖縄県うるま市(旧石川市)の住宅地に墜落炎上し、機体の一部が宮森小学校の教室に突っ込みました。死者18名(児童11名、住民6名、さらに児童の1名が大学入学後に後遺症で亡くなる)、負傷者212名(児童156名、職員2名、住民54名)、小学校、公民館、民家25棟が全半焼。——米軍による最大の基地被害の事件です。普天間や嘉手納をはじめとする基地と隣り合わせの沖縄の生活が、いかに危険なのかをこの事件が教えてくれます。この惨事は沖縄の人々の記憶に刻まれているだけでなく、基地に囲まれた沖縄では今後も起こりうることで(たとえば2004年8月13日に起きた沖縄国際大学米軍ヘリ墜落事件はまだ記憶に新しい)。だからこそ私たちが忘れてはならない事件です。



1959年、宮森小と住宅地に墜落炎上した米軍機

- 1945.11 本部村の民家に米軍機が墜落炎上 住民1人死亡3人重軽傷
- 1946.06 超低空飛行の米軍機の車輪で9才 男児が頭部を打たれ即死
- 1950.08 読谷村、米軍機から燃料タンクが落下 5才女児死亡3人重軽傷
- 1951.10 那覇市、米軍機から燃料タンクが落下 住民6人死亡
- 1959.06 米核弾頭を搭載した空軍ミサイル「ナイキ」を那覇沖に誤発射。米軍兵士1人死亡
- 1959.06 F100 戦闘機が、旧石川市宮森小学校と住宅地に墜落、炎上住民の死者18人、負傷者多数
- 1959.09 伊江島で低高度核爆弾投下訓練中、核模擬爆弾MD-6が爆発、住民1人死亡
- 1961.12 F100 戦闘機が、うるま市具志川・川崎に墜落。住民2人死亡、下校途中の1年生男児大火傷
- 1962.12 KB50 給油機が嘉手納町民家に墜落。住民2人死亡、8人重軽傷。
- 1964.4 嘉手納基地を発進したF8 戦闘機が、東京都町田市に墜落炎上。死者4人、負傷32人。]
- 1965.06 読谷村で米軍ヘリから米軍トレーラー落下(隆子ちゃん事件)
- 1966.05 KC135 空中給油機、嘉手納基地で離陸に失敗、民間人1名、乗務員1名死亡
- 1968.11 嘉手納基地でB52 戦略爆撃機が離陸に失敗し、基地内に墜落、爆発。住民16人重軽傷
- 1971.10 沖縄読谷村にジェット練習機が墜落し農民1名が負傷。
- 1977.09 神奈川県横浜市にRF4B ファントム戦闘機(厚木基地)がエンジン火災を起こし墜落 住民3人死亡6名負傷

撮影：沖縄タイムス  
海に沈んだオスプレイ「沖縄県名護市の海岸で墜落大破したオスプレイ=2016年



- 1992.10 普天間基地所属CH46ヘリが、普天間第二小から約500mに墜落
- 2004.06 北谷村民家の庭にFA18 戦闘機からの部品の一部が落下
- 2004.08 宜野湾市の沖縄国際大にCH53D 大型ヘリが墜落炎上。乗員3人負傷
- 2016.12 名護市の沿岸でオスプレイ墜落。乗員2人が負傷
- 2017.10 CH53E 大型輸送ヘリが飛行中に失火。東村の民有地に不時着炎上
- 2017.12 普天間飛行場に近接する宜野湾市内の保育園に、米軍機部品落下
- 2017.12 普天間所属CH53Eヘリから普天間第二小学校に窓が落下
- 2018.01 普天間所属UH1Y輸送ヘリが民家近くに不時着
- 2018.01 AH1Z攻撃ヘリが読谷村廃棄処分場に不時着
- 2018.01 AH1Z攻撃ヘリが渡名喜村不時着
- 2018.02 うるま市伊計島の大泊ビーチで、MV-22B輸送機が、エンジン空気取り入れ口のカバー落下
- 2018.02 F-16戦闘機(三沢基地所属)が離陸した直後にエンジン部分から失火。青森県小川原湖に燃料タンクを投下



2004年沖縄国際大学に大型ヘリ墜落炎上



### 会場の行き方の地図

※ 1945年から、多数ある米軍機事故の中から、重大な住民被害にかかわるものだけをまとめた。都道府県名が書かれているもの以外は沖縄県での事故